

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(高学年型)

学校名
三原市立西小学校

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

	通常学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
学級数	2	2	2	2	3	2	13	4	17

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第5、6学年の指定教科

指導教科名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
算数	5	3	5	15	
算数	6	2	5	10	

授業時数 計 25 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
				0	

授業時数 計 0 (b)

授業時数 合計 25 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画


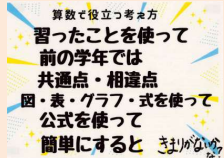
教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	2	1	2	1
6年 1組 (担任: A)	A	A	A	推進	専科	専科	B	B	A	A	A	A	A
6年 2組 (担任: B)	B	A	B	推進	専科	専科	B	B	B	A	B	B	B
週当たり標準授業時数	5		2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	2	1	2	1
5年 1組 (担任: C)	C	C	D	推進	専科	専科	E	E	C	C	C	C	C
5年 2組 (担任: D)	D	C	D	推進	専科	専科	E	E	D	C	D	D	D
5年 3組 (担任: E)	E	C	D	推進	専科	専科	E	E	E	C	E	E	E

4 高学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(週当たり)				担任する学級の授業時数(d)	授業時数の合計(c)+(d)
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)		
6-1	31	A	6-2	書写	1	3	16.6	19.6
			6-2	外国語	2			
6-2	32	B	6-1	家庭	1.6	3	16.6	19.6
			6-1	図工	1.4			
5-1	26	C	5-2	書写	1	6	13.6	19.6
			5-2	外国語	2			
			5-3	書写	1			
5-2	27	D	5-3	外国語	2	5.8	13.5	19.3
			5-1	社会	2.9			
5-3	26	E	5-1	社会	2.9	6.2	13.7	19.9
			5-1	家庭	1.7			
			5-2	図工	1.4			
			5-2	家庭	1.7			
			5-2	図工	1.4			

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

〈効果のあった取組〉	
①	<p>・全体研究授業を行い、教科指導の授業改善だけではなく、学習規律についても、全教職員で研修を行い、児童が主体的に学習できるための工夫や手だてについて交流することができた。</p>  <p>・単元計画を立て、算数の見方・考え方や資質・能力について分析をして授業を行った。</p>  <p>・本時の流れが板書で把握できるように、構造的な板書になるようにしたり、ワークシートを作成したりして、全児童が学びに参加できるようにした。</p>
②	<p>・校内生徒指導委員会に参加し、効果的な声掛けや支援を行った。 ・担任と連携を密にとり、放課後のやりきるタイム(補充学習時間)で個別指導を行った。</p>
④	<p>・朝の会や帰りの会、給食、帯タイムなど、担任と一緒に指導を行った。 ・空き時間には、積極的にTT指導に入ったり、宿題の添削などを行ったりした。</p>

〈課題〉	
①	<p>・授業時間が多いため、個別指導をする時間の確保が難しい。</p>
②	<p>・担任ではないため、学習集団づくりができにくく、全員を主体的に学習に向かわせることが難しい。</p>

〈成果〉			
① 標準学力調査結果			
		5年	6年
算数	前年度結果 偏差値平均	55.2	50.1
	本年度結果 標準スコア	54.3	53.2
<p>前年度と比べて、5年生は0.9ポイント下がり、6年生は3.1ポイント上がった。(前年度はNRT、今年度は標準学力調査)</p> <p>児童アンケートで、「教科担任制の授業が楽しみです。」の項目では、肯定的評価が、1回目より2.1ポイント上がった。</p>			
② 児童アンケートで、「教科担任制で学ぶことでいろいろな先生と話す機会が増えました。」の項目では、肯定的評価が、1回目より8.7ポイント上がった。 教職員アンケートで、「授業を担当している学級や児童に対して、組織的な生徒指導ができています。」の項目では、肯定的評価は、1回目とほぼ同じであったが、強い肯定が5.8ポイント上がった。			
④ 第2回教科担任制に関する教師アンケート「業務改善につながっている。」の肯定的回答の割合が高まった。			

〈対策〉	
①	<p>・個別指導の時間としてドリルタイムや、やりきるタイム(補充時間)を活用する。 ・補充が必要なときは、担任と連携をとり、協力を得る。</p>
②	<p>・担任と連携をとり、早めに課題となる点を分析し、自分の授業の流し方や支援の仕方を柔軟に変えていく。</p> <p>・校内研修を活用し授業のルールを全教員で確認する。</p>